

# 枚方民報

2011.8.13 664  
発行：日本共産党  
枚方市委員会  
東田宮1-137-3  
：844-6201  
Fax: 845-4141  
市会議員団  
・ Fax: 841-7243  
石村 淳子  
伊加賀栄町1 8 - 1 6  
846-3245

広瀬ひとみ  
津田駅前1 - 7 - 4  
859-8433  
つつみ幸子  
香里ヶ丘8-32-2-605  
050-3795-5001

おりぐち勲  
牧野北町5 労住まきの  
ハイツ2 - 6 0 4  
868-3108

中西ひでみ  
渚南町1 8 - 4 5  
849-7335

野口 光男  
星丘2 - 2 2 - 2 5  
848-3128

松岡ちひろ  
招提元町3 - 3 6 - 3  
856-3092

## 若い世代が輝き 誰もが安心して住み続けられるまちに みわ智之さん力強く決表明



元気に力強く決意表明

朝からやけつくような暑さの中、8月7日「みわ智之事務所開き」が行われました。

開会中の国会から急遽駆けつけた宮本たけし衆議院議員は「国会でスジをおとしてがんばっているのは共産党だけ。枚方でもスジを通して闘つみわさんを心から応援する。枚方でみな



さんがつくってきた良い市政をみわさんで、ぜひとりもどしてほしい」と

あいつ。青年の運動で、みわさんとともに活躍した民主青年同盟の伊木大阪府委員長、枚方市議会議員を代表して石村議員団長が、ともに頑張る強い決意を表明しました。女性後援会などから花束を受け取り、最後にマイクをにぎったみわ智之さんは「談合市長やこの問題を追及しない官僚市長ももうゴメン。市民の痛みがわかる市長が必要で、36才の若さですが、市民の声がとどく枚方に、市民とともに考えつくる枚方をつくりたい。子どもからお年寄りまで未来に希望をもって住み続けられるまちをつくるため

枚方市長選挙は  
8月21日 告示  
8月28日 投票

### シリーズ「枚方市政を考える」④

## 青年の声を聞かない、お粗末な若者施策、枚方市 若者・働き世代が輝くまちへ

枚方市の青年関係予算をご存知でしょうか。成人祭（はたちのつどい）実施経費1277万5千円、フリーゼミナル実施経費2万円、枚方公園ユースクエア実施経費10万円、青年祭実施経費9万円、各種講習会実施経費10万円、青少年教室運営経費7万3千円、青少年サポート事業経費50万1千円、計88万4千円です。

### 不十分な就労支援

共産党市会議員団では、この間若者の就労支援について市独自の取組みを行うよう求めて来ましたが、しかし、枚方市は一貫して消極的な態度に終始し、就労支援は府まかせです。

昨年12月議会でも「市内事業者を回って高校生への就労の協力を求めよ」と求めたのに、竹内市長は「年末年始の交流会等の機会に、市内事業者と積極的に情報交換

### また意見交換を行って

就労支援についても協力を求めていく」という程度です。

### 若者に負担増の施設使用料

昨年6月議会で枚方公園青少年センターの有料化が提案されましたが、

党議員団は反対しました。国の青少年育成施策大綱では青少年期は30歳未満としているのに今回の有料化では22歳までしか無料にしなかったのも問題です。演劇など大きな

### みわ智之の若者プラン

超高齢化を前に、若い世代が住みたいと願う街をつくることは、まちを活気づけ、市の財政を安定化施策することからも最重要課題と位置づけ、とことん力をそそぎます。

### 若い世代の暮らしを応援します

若い世代が住みたい部屋を利用する場合は大きな負担増です。青少年センターの利用状況は全体の利用率が約79%、その内訳は青少年団体が約15%と低い状況です。

- ・ 独自の就労支援
- ・ 若者の就労、スキルアップ講座の開催
- ・ 市独自の若者就労支援・相談窓口を設置

と願うまちにするため、親と同居する世帯への改築費用助成や新婚世帯への家賃補助などプロジェクトを進めます。

市が積極的に、青年たちが輝いて活動できるように、センターの利用を促進させる必要があります。

